

ハイキングクラブ（近畿）燦歩会 10月再開です 2021. 10. 03

☆10月24日（日） 第507回例会 奈良・明神山（みょうじんやま）を 実施します。
新型コロナの新規感染者数が減少し、状況が好転しつつあるかと考えられるためです。
当日は会として、体温計、消毒液を用意し、多人数の場合はグループ分けして密を避ける
などし、また会員にも距離を保ち、マスク着用、健康チェックなどをお願いします。
もちろん事前に感染悪化の兆しがあれば、躊躇なく中止する事にしています。
明神山は標高273mですが、奈良盆地から大阪平野まで360度のパノラマが楽しめます。

☆燦歩会10月のアルバムから （500回の軌跡の中から随時掲載します）



2009年 九重高原



2016年 岩村城



～ 明知鉄道岩村駅



2013年 八甲田山



～ 白神山地



2019年 びわこバレイ



2020年 葛城山

★毎月第4日曜日 開催です。

旧友会員の方、職員の方、御参加をお待ちします。

連絡先 山村恵一 090-1484-4403、y-yamamura@ares.eonet.ne.jp

★蛇足の燦歩 ならやま研究パーク界限

いつも燦歩会のレポートの末尾に、書かずもがなの「蛇足」を書いている者です。コロナ禍のため月例の燦歩会もままならず、再開を信じて散歩で備える日々ばかりでしたが、その中で折々目に触れた事を記します。題して「蛇足の燦歩」です。これまで歴史の話ばかりでしたが、今回は現代版です。

私の住处から歩いて10分程の所に、こんなバス停があります。京都、大阪、奈良の接する一帯は、「西のつくば」を目指して1987年以来「けいはんな学研都市」と呼ばれるサイエンスシティの整備が進められて来ました。(正式名称は「関西文化学術研究都市」)12の地区に150を超える研究所、大学、文化施設などが点在しています。この「ならやま研究パーク」もその一つで、幾つかの企業の研究所が置かれています。



さて、クイズです。この社名はなんと読むのでしょうか？英語ではなさそうですし、何語なのでしょう？私も初めは分からず「エータウン」などと思っていました。分かってみればあっけない事ですが、読みは「あとうん」。別に英語読みでもなく、普通の日本語なのです。漢字で書けば「阿と咩」だそうです。ことばの初め「あ」と終わりの「うん」。仁王様にもありますね、阿形と咩形。ホームページによれば、人間を表す「A (阿、あ)」と、

ロボットを表す「UN (咩、うん)」が調和した「あうんの呼吸」にちなんだ社名だそうです。

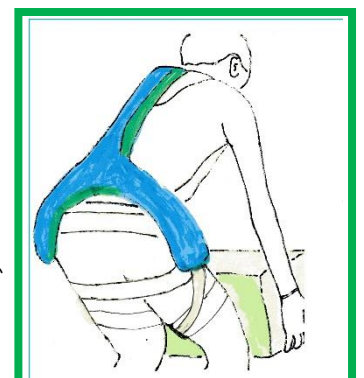


8月下旬に、たまたまロビーを見学する事が出来ました。所狭しと展示されていたのは、「パワーアシストスーツ」です。「着るロボット」とも呼ばれるもので、力仕事を手助けしてくれるのです。(右図)

リュックのように背負って、腰と太もものベルトを締め電源を入れると、重い荷物も軽々と持ち上げられるそうです。

見学後間もない9月13日「おはよう日本」の「おはBiz」のコーナーで、このスーツ

の紹介があってビックリ。東京パラリンピックのウエイトリフティング競技で、重りを掛け替えるスタッフが、このスーツを活用していたのです。いまパワーアシストスーツは、製造・建築・運輸などの外、介護の現場でも活用され、いよいよビジネスになって来た訳ですね。



またロビーにはこんな大きなメカも置かれていました。
 災害復旧や建設の現場を想定して開発中のプロトタイプだそうです。
 中にオペレーターが入って、操縦する仕組みです。
 映画好きの方なら、この写真で思い出すシーンがあるのでは？
 1986年の「エイリアン2」に登場した「パワーローダー」
 です。シガニーウィーバーが、身に纏うというか中に入って、
 エイリアンと死闘を演じたあのシーンです。
 実際に映画がこのメカのヒントになったのだそうです。
 いずれ現場で力を発揮する姿が見られるかも知れませんね。



北へ200mほどの所、
 こちらは住宅メーカー「ダイワハウス」の研究所です。
 見学コースも設けられていて、世界の環境に調和した様々な
 住宅、国鉄の作業小屋をプレハブで作って以来のダイワハウスの
 歴史、最先端の住宅の防災、環境配慮の研究を見る事が出来
 ます。

内部の写真撮影は出来なかった
 のですが、外からこんな不思議な
 光景を見る事が出来ました。

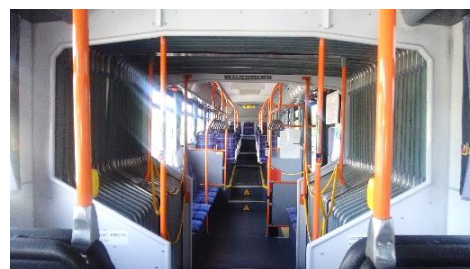


ビルの壁面に植物の鉢が埋め込まれ、
 茂るに任せて花まで咲いています。
 「壁面緑化」の実験だそうです。
 熱を防ぐ、CO²を吸収し酸素を生み
 出すなど、様々なメリットが期待され
 るという事です。



蛇足の蛇足です。
 「けいはんな」にはこんな鮮やかな黄色の
 バスも走っています。普通のバスが2台
 つなげた長〜い「連節バス」です。

オーストラリアのバスメーカー「ボルグレン」の車体に、スウェーデンの「スカニア」製の
 大型エンジンを載せたもので、長さ18m、一度に130名乗る事ができます。
 連節部の内側を見ると、まるで宇宙船内部のような、こんな巨大さです。
 けいはんな一帯と、京都・大阪に便利なJR・近鉄の
 祝園（ほうその）駅との間に、平日の朝と夕方、運行
 されています。広々としたけいはんなの道路だから
 こそ、この巨体も心置きなく走れる訳でしょう。



生島（おじま）幸弥